令和7年度 東光中学校 グランドデザイン

学校教育目標

未来を拓く 心豊かな生徒の育成

- 自律心を持ち、他を思いやる生徒〈共感力、自律心、寛容性〉
- 進んで学び、工夫して実践する生徒〈主体性、クリティカルシンキング、創造力〉
- 生命を尊び、自ら体を鍛える生徒〈GRIT(やり抜く力、粘る力)〉

啓明小

重点教育目標

自分のよさを磨き、夢や希望に向かって挑戦する子どもの育成
～気持ち 考え 行動する！～

『挨拶しよう！』
『進んで活動しよう！』
『みんなと協力しよう！』

千代田小

重点実践事項

WakuWaku

「進んで」「仲間と」「最後まで」学ぶ子どもの育成

重点目標

自己肯定感と自己有用感をバランスよく育む教育の推進

【第1学年】学ぶ仲間…気持ちや立場の理解 仲間との絆

【第2学年】創る仲間…仲間との協働 粘り強さ

【第3学年】伝える仲間…仲間との協働と創造 主体的・創造的 強い意志

【特別支援】高める仲間…認め合い 社会的自立 粘り強さ

重点的取組

【徳】自律心を持ち、他を思いやる

- (1)豊かな心を育む道徳教育の推進
- ①人権の尊重について考えを深める道徳の時間の充実
 - ②多面的・多角的に考え、議論する指導の工夫
 - ③生徒の成長に着目した適切な評価
- (2)生徒理解を深め、自己実現を促す生徒支援の充実
- ①生徒理解と信頼に基づくレポートを確立した心のふれ合いや認め・励ます支援
 - ②自己肯定感・自己有用感を実感させた教育相談の充実と支援の工夫
※社会貢献意識の高揚
 - ③学級・学年を中心とした自己指導能力の育成
- (3)夢や希望を育む進路指導の充実
- ①主体的な学びと働く意義を考える指導の工夫
 - ②社会人としての自覚と責任、勤労観・職業観を育む指導
 - ③進路選択に向け、資料や情報を活用できる支援

【知】進んで学び、工夫して実践する

- (1)学ぶ意欲を高め、自ら学ぶ習慣を育成する学習指導の充実
- ①基礎基本の定着を図る「主体的・対話的で深い学び」の充実
 - ②ICT 器機を活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実
 - ③家庭学習の習慣化を図る指導の工夫
- (2)探究的な見方・考え方を育み、自己の生き方を考える総合的な学習の時間の充実
- ①課題解決のために必要な知識・技能を身につける指導
 - ②課題解決に向け、まとめ・表現できる指導
 - ③互いのよさを生かす態度を養う指導
- (3)一人一人の発達を促す特別支援教育の充実
- ①必要な支援の把握と教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の工夫
 - ②校内体制の整備と全校体制による指導・支援の工夫
 - ③支援計画の見直し家庭地域関係機関との連携

【体】生命を尊び、自ら体を鍛える

- (1)よさや可能性を発揮する特別活動の充実
- ①最後まで粘り強く実践できる支援の工夫
 - ②集団への所属観や連帯感を深め、自主的実践力を育む支援の充実
 - ③人間関係をより良くする態度を養う支援の工夫
- (2)健康でたくましい心身を育む健康安全教育の充実
- ①健康・安全意識の高揚と環境の整備
 - ②心身の成長を促し、合理的で効率的・効果的な部活動指導の推進
 - ③望ましい食習慣を育む給食指導とアレルギーに対応する校内組織の確立
- (3)生命や身体を守る指導の充実と危機管理体制の確立
- ①学校の生活様式の定着と改善
 - ②自他の命の大切さと尊さを育む指導の充実
 - ③危険予測・危険回避能力の育成

学校評価の実施

- 年2回の学校評価アンケートの実施(生徒、保護者、教員)
- 学校運営協議会による学校経営に関する評価(学校運営協議会委員)
- 各行事終了後のアンケートの実施(教員)

学校力の向上

学校マネジメント(「チーム東光」の実現)

- 1.迅速な学校の改善サイクルの機能
- 2.成果と課題の情報提供

人材育成

- 1.ミドルリーダーの育成を目指した総合的な取組
- 2.授業改善に直結する校内研修の充実
- 3.特別な配慮を要する生徒への支援の充実に向けた指導力向上

社会と連携・協働した教育の推進

開かれた教育課程

- 1.教育課程を介した目標の社会との共有
- 2.育成を目指す資質・能力の明確化
- 3.経営ビジョンの共有・連携(学校評価の公表と改善)

家庭・地域との連携・協働

- 1.学校運営協議会や地域協働本部との連携
- 2.地域の教育資源活用

小中連携・一貫教育

- 1.9年間を見通した連続性のある教育
- 2.全国学力学習状況調査を活用した生徒の経年変化の分析

働き方改革の推進

コアチームを中心とした業務の精選と効率化

- 1.子供と向き合う時間の確保
- 2.業務の簡略化、効率化、協働化
- 3.多様な意見の検討

「Road」を活用した取組の推進

- 1.本来担うべき業務に専念できる環境の整備
- 2.部活動に関わる負担軽減
- 3.勤務時間を意識した働き方推進と学校運営体制の充実
- 4.チェックリストを活用した取組の検証